

れた全日遊連の今後の不正防止対策に関する基本的な方針の策定に  
関する協議検討を、同委員会に付  
託したいと考えている。

活動期間は未定であるが、でき  
れば集中的に協議検討し、短期間  
で結論を出す方針である。

本日承認していただけたなら  
ば、第1回の会合として、1月27  
日に執行部及び同委員会との合同  
会議を開催したいと考えている。

なお、再開する同委員会は、不  
正防止対策に真摯に取り組み、不  
正防止対策に関する造詣が深い委  
員で活動を開始し、今後必要に応  
じて委員を増員していく方針であ  
るので、併せてご承認いただきた  
い、との説明があった。

協議に入り、理事からの質問に  
対し、大城副理事長及び金本副理  
事長から回答があった。

協議の結果、挙手により、不正  
防止対策特別委員会を再開するこ  
とを承認した。

## 報告事項

1  
12月14日に開催された  
パチンコ・パチスロ産業  
21世紀会について

大城副理事長から、昨年12月14

日に開催したパチンコ・パチスロ産  
業21世紀会における協議事項につ  
いて、今回の21世紀会では、警察  
庁保安課の廣田耕一課長にご出  
席いただき、挨拶をいただいた。  
21世紀会に行政の担当官が出席  
したのは、初めてのことであり、  
挨拶の中で「21世紀会は業界14団  
体の代表者が集まる唯一の場であ  
り、業界団体の方々が一堂に会  
して、業に付随するさまざまな問  
題について精力的、包括的に議論  
することは非常に意義のあること  
とされている」との言葉をいただい  
ている。

次に、ばちんこ依存問題相談機  
関「NPO法人リカバリーサポー  
ト・ネットワーク」への支援の願  
いについて、本件は、ばちんこ依  
存問題がホール団体のみならず、遊  
技業界全体として取り組むべき問  
題であるとの認識に基づき、業界  
14団体が会員である21世紀会に  
おいて説明し、協力要請を行った  
ものである。

今回は同機関西村直之代表理事  
が都合により出席できなかったが、  
代理で相談業務の現場に携わ  
る安高真弓理事に出席いただき、  
安高理事から活動内容と問題点、  
財政状況及び今後の取り組みの拡  
充等について、具体的な説明をし  
ていただき、支援のお願いをした。

協議の結果、各団体ともに依存  
問題相談機関としてのリカバリー  
サポート・ネットワークの活動に理  
解を示し、活動の支援に向けた賛  
同が得られたものと考えている。  
今後は、各団体に対し、文書に  
て支援の意思を確認するなど、  
より具体的な作業を進めていく  
予定である。

次に、遊技産業健全化推進機構  
経費の負担方法について、全日遊  
連の理事会決議の状況等を含め、  
当職が報告を行った。

引き続き、山本副理事長から  
「環境問題に対するホール5団体  
の取り組み」について説明があり、  
11月11日開催のホール5団体会議  
小委員会にて

- ①「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャ  
ンペーン」への参加登録
- ②「チーム・マイナス6%」活動へ  
の参加
- ③屋内設置清涼飲料水自販機の営  
業時間外の消灯
- ④電力削減ノウハウ集、ポスターの  
作成の検討

の4項目について合意した、と報  
告された。

「電力削減ノウハウ集、ポスター  
作成」については、各団体から2名  
程度メンバーを選出し、環境実務  
者会議を設置して作業を進めるこ  
と、1月27日開催の「パチンコ・パチ